



大樹のこころ

新教室完成

またまた校長室だよりの発行です。現在本校は、運動会を皮切りに様々な行事やプロジェクト、校外学習など盛りだくさんの日々を送っており、たいへん気忙しい日が続いています。校長室だよりのネタにも事欠きません。毎日のようにお知らせしたい出来事があります。

今号でお伝えしたいのは校舎改修工事についてです。約1年前から始まった校舎の大規模改修。運動場に仮設校舎を建て、従来の駐車場は工事事務所となり、職員の駐車場が運動場に移転するなどたいへんでした。子供たちも6年生や3年生が仮設校舎での生活を余儀なくされました。仮設校舎はあくまで仮設。位置的に敷地内の端にあるので、校内の施設に移動する上で様々な不便がありました。特に給食の配膳がたいへんで、配膳室から仮設校舎まで配膳車を使って給食を運ぶのが、大きな負担となっていました。子供は環境に左右されやすい傾向があるので、生活の変化はストレスになっていたと思います。そんな中ですが、子供たちは落ち着いた生活を送ってくれていました。

11月に入り、ようやく新しい教室が完成。11月8日(金)が教室の引き渡し日となり、仮設校舎にいた3年生が引っ越しをすることに。また中校舎の別教室での生活が続いていた5年3組も、元の教室に戻ることになりました。この日の5時間目に引っ越し作業が行われました。3年生はまだまだ体が小さいので、机や椅子を運ぶのにも一苦労。そこで6年生がお手伝いをしてくれます。仮設校舎から「えっちらおっちら」机を運ぶ姿が可愛らしい。とても重そうなのですが、子供たちの顔は晴れやかです。5年3組は2学期に生活してきた教室が、1学期に過ごしていた教室よりも狭い状態になっていました。これが元の教室に戻れるとあって大喜び。新しく生まれ変わった教室で荷物整理をする子供たちには、笑顔が広がっていました。一方、子供たちの机椅子がなくなった仮設教室は、殺風景でどこか寂しそう。1年近く利用してきただけに、それなりの愛着もあり、もの悲しい気分にも包まれました。

教室の引っ越しが終わりひと段落です。しかし、これで工事が完了したわけではありません。今後は仮設校舎の解体、工事事務所の撤去、運動場の復旧とまだまだ作業が続きます。全てが完了するのが2月になる予定。保護者の皆様には不自由をおかけしますが、ご理解いただきたいと思います。

近隣の中学校でインフルエンザが流行しているとの情報が入ってきました。先日、インフルエンザの予防接種をしようと病院に行ったところ、患者の多さにびっくり。確実に流行の兆しが迫ってきています。6年生の修学旅行も近づいてきています。ご家庭でも健康管理にご留意ください。

